

令和4年6月 新刊案内

高砂市男女共同参画センターでは、 図書の貸し出しを行っています。

～お一人様2冊まで、期間は2週間です。～



喜ばれる人になりなさい

著者：永松 茂久

ベストセラー「人は話し方が9割」の著者の本です。母親の「喜ばれる人になりなさい。それが私の夢だから。」この言葉を胸に、「どうしたらお客様が本当に喜んでくれるのか」をまず考え「非効率の追求」を続けた結果、事業がどんどん大きくなっていく過程が描かれています。あなたのお母さんはどんな言葉を残してくれましたか？今、あなたのお母さんは笑っていますか？



三千円の使い方

著者：原田 ひ香

この本は、4人の女性のそれぞれの現実的な金銭感覚をもとに、全ての年代の人の心に響く構成となっています。就職したばかりの頃、結婚し主婦雑誌を読んで、千円札に両替し袋分けして生活費を管理していた頃等、その時々自分を懐かしく思い出しました。皆さんは、三千円どのように使いますか？



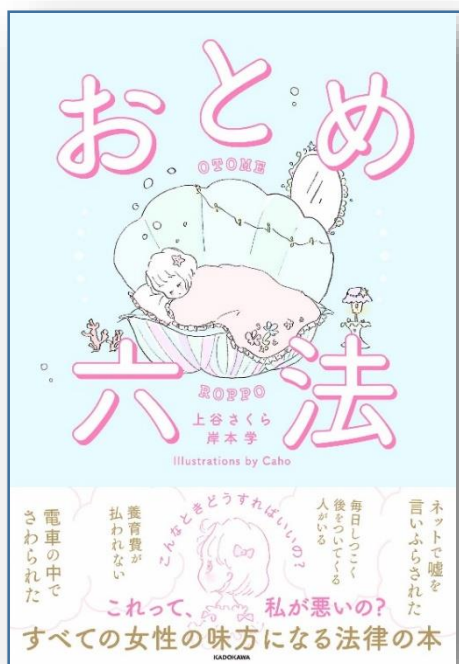
大人になるってどういうこと?
みんなで考えよう18歳成人

著者：神内 聡

「大人」と「子ども」は何が違うのでしょうか？法律では「成年」「未成年」という言葉で区別しています。2022年4月から成人年齢が18歳になりました。18歳の誕生日を迎えた高校生は、「成年高校生」となり、高校3年生のクラスは、未成年と成年が混在します。今までよりもずっと自由になったり、権利を得られたりする反面責任も問われます。この本は事例が多く掲載されており、18歳になる方にも、親や先生方にも読んでいただきたい本です。

おとめ六法

著者：上谷 さくら



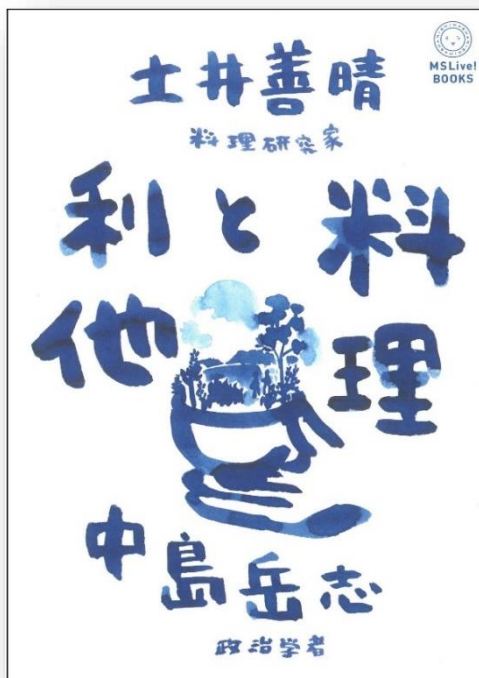
まだまだ女性にとって生きづらい側面のある日本社会。平等であるはずの権利や社会的地位、家庭内の立場など男女間でのギャップはなくなっていません。この本は女性の身に起こるかもしれないトラブルについて、どのように解釈し対応をするべきかまとめられています。学校、職場、恋愛、結婚、SNSなど、身近な事例をもとに根拠となる法律の条文と考え方が書かれていて、万が一のときの「道しるべ」となるでしょう。



89歳、ひとり暮らし お金がなくても幸せな日々 の作り方

著者：大崎 博子

1日に8000歩歩き、ツイッターでつぶやき、太極拳を習い、週に1度の健康麻雀を楽しむ「高貴香麗者」。89歳である著者は、「喜愛」でいい日を過ごしています。「何事にも限界を決めないこと」「全部ひっくるめて楽しむ事」を大切に、好奇心のままに新しいチャレンジを続ける姿をみると、「年をとることも悪くない」と思えます。「私ね、今が一番楽しいわ」そう言える老後が送れたらと思う人におすすめです。



料理と利他

著者：土井 善晴
中島 岳志

家庭料理とは毎日食材という自然と向き合い、過剰なものを削ぎ落とし、素材の持つシンプルなおいさを引き出しながら、家族を思って料理するもの。日々の暮らしを真面目に営み、結果として美しいものが自ら生まれてくる。何も考えず結果として利他につながるのが本来のあるべき姿であり、自らの意思ではなく無意識に行われた行動こそが利他の本質です。「新しい生活」とは「利他」からはじまるのかもしれませんが。